



建築物総合環境計画概要書 新築

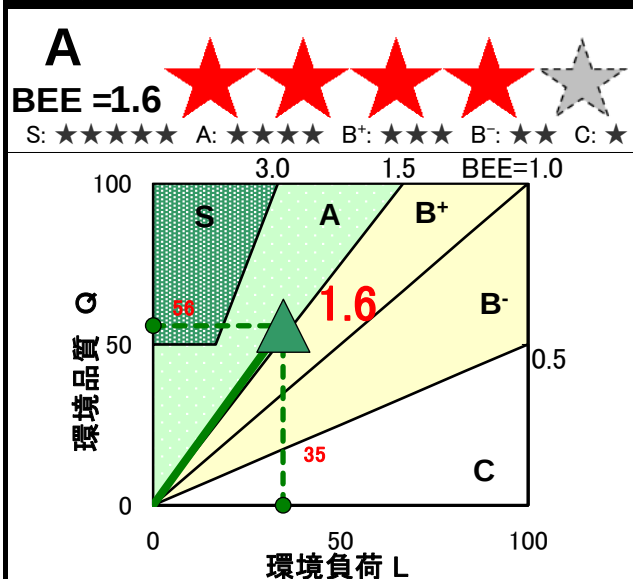
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

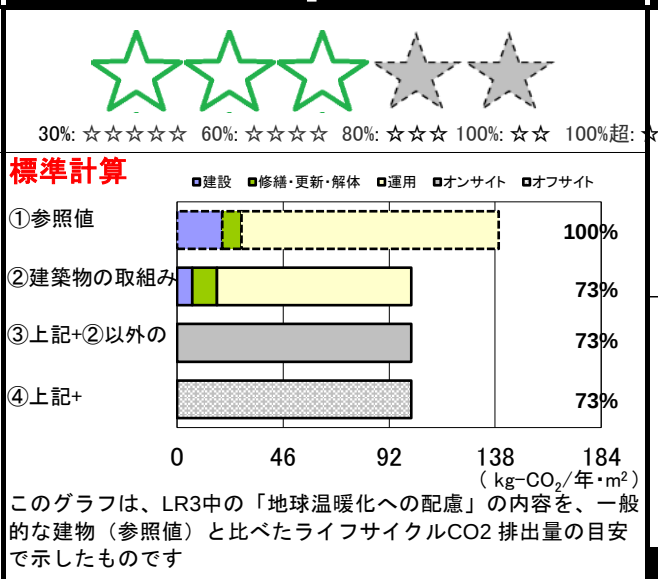
建物名称	(仮称)福島区鷺洲1丁目PJ新築工事		
建設地	福島区鷺洲1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	阪急阪神不動産(株)		
設計者	(株)IAO竹田設計		
敷地面積	9,689.23	m ²	
建築面積	3,771.11	m ²	
延床面積	72,240.06	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上51階
完了年(予定)	2029年9月		

1-2 外観

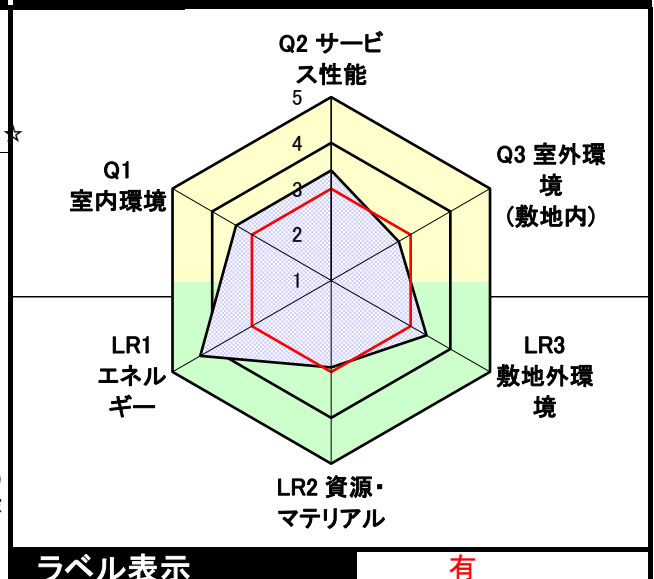
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



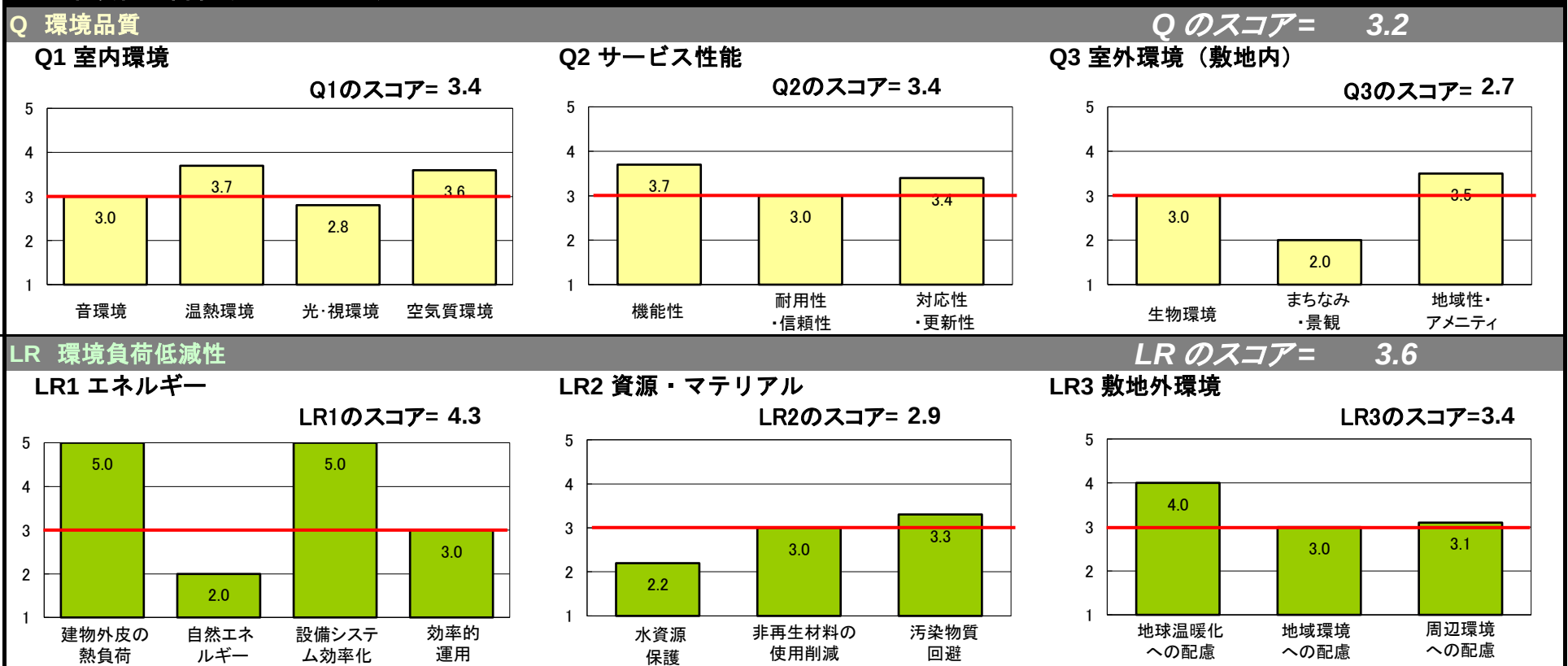
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
ZEH-M Orientedを取得予定であり、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えるよう努めた。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
外皮性能を断熱等性能等級5を満たすことで温熱環境を向上させ、また、F☆☆☆☆の建築材料を全面的に採用するとともに、居室にできるだけ開閉可能な窓を確保することで自然換気性能の向上に配慮した。	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするとともに、各住戸にGbitクラスのブロードバンドを整備し、機能性を向上させた。	敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱材や複層ガラスにより外皮性能を断熱等性能等級5を満たす性能にし、建物外皮の熱負荷抑制を図った。また、LED照明や保温浴槽の採用により、設備システムの効率化を図った。	ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料の仕様回避に努めた。また、躯体と仕上げを容易に分別可能なものとし、部材再利用の可能性向上に配慮している。	ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.0
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	緑地を確保することにより、地表面温度や指標面近傍の気温等上昇を抑制することに配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5を満たす計画とし、建物の熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級4を超える（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.70	0.70	-